PTA かながわ

発行者　神奈川県PTA協議会　事務局　横浜市神奈川区神之木台22-14 県青少年課神之木台分館内 TEL.045-431-6583 FAX.045-430-5025　印刷所 株式会社コンパス

輝け！大人の背中
～学校の応援団になろう～

■会長挨拶

柴田 正隆
「関プロ大会での柴田会長」

宣言文を県の行動指針に

関東ブロックＰＴＡ研究大会（以下、関東大会）では、14年に1回の大会に多くのご協力、ご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

この関東大会で採択された「宣言文」は今後、具体的な「行動指針」を追記し、来年の定期総会で「神奈川県Ｐ宣言」として採択を目指すとともに、具体的な行動として**「先生の悪口を子どもの前で言わない」「新任の先生は学校・保護者・地域が一体となって育てる」**といった、なかなか浸透しない大切なことを「行動指針」として活用できるよう、県Ｐで協議を重ねています。26年以降、「大人の背中」「学校の応援団」としての有るべき姿、事業の在り方などに資する取組にしていきます。

さて、関東大会に際し発信した神奈川県のメッセージを掲載いたします。これからも、県内ＰＴＡ協議会の皆様の支援や参考となる情報発信など行ってまいります。引き続きご意見やご要望をいただけることを心よりお願い申し上げます。

（関東大会全体会 主催者挨拶より抜粋）

十分ではない？？

私たちの大切な子どもたちがお世話になる学校環境を見渡すと、「十分に整っている」「十分、安心だ」と思われる方は、残念ながらあまり、多くはいらっしゃらないことだとおもいます。

そして、「十分」ではない、その理由は、学校や先生が悪いから、と考えている方も殆どいらっしゃらないと思います。

なぜならば、日々のＰＴＡ活動を通し、大切な子どもが健やかに育つ「学校環境」の構築は、学校や先生に一方的に押しつけるものではなく、学校、保護者、そして地域が「三位一体」と成って創り上げるべきものだと、多くの方が認識されているからだと思います。そして、今日この時も、子どもたちのために奮闘される先生方の姿を知っているからだと思います。

奮闘と困窮と学校の応援団

一方で、残念ことですが、「先生の悪口を子どもの前で言う」「責任も果たさず、自分の権利ばかりを主張する」など、問題行動を取る一部の大人の存在も私たちは認識しています。

また、学校に何か問題が発生すると、「学校が」「先生が」と一方的な報道を行う一部のメディアの存在も認識しています。

「奮闘する先生方、困窮する学校現場」。いま、私たちＰＴＡ組織の多くを占める保護者が、困窮する学校現場、奮闘する先生方の、真の理解者、パートナーとして、学校の応援団」となり、先生方と手を取り合い、信じ合って、学校環境の整備を進めなくてはいけないと強く考えるのです。

「大人の背中」の、その力

そして、そのように先生を信じ、学校を応援する、「大人の背中」を目にした子どもたちは、必然的に先生を信頼し、愛校心を抱き、延いては郷土愛を育むはずです。

そして、彼ら・彼女たちがいずれ大人になった時、当り前のこととして地域の活動やＰＴＡ活動に参画していく、そんな「頼もしい大人」へと育ってくれると、信じて止まないのです。

「大人の背中」は、どんな素晴らしい本や、教えよりも、子どもたちに多くのことを、伝えることができるはずです。

「大人の背中」は、言葉を越えて、何よりも大切な価値観や生き方を伝える力がある信じています。

新しい風で、輝け！

そのためにも今、私達大人が改めて襟を正し、子どもたちの範となるような行動や、地域・学校へ積極的に参画する、まさに、「かっこいい大人の背中」をみせていきたいと考えます。

「かながわ学舎」でともに学び、気づいた「新しい取組、新しい風」を、関東各地にもちかえしり、「学校の応援団」として実践することで、学校、先生が今まで以上に輝き、そして、なにより子どもたちの目を「きらきらと輝かせられるＰＴＡ活動を進めて行きたいと思います。

「かながわ学舎～開国の地から 新しい風を～」。輝け、関東全域のＰＴＡ活動、輝け、関東全域の大人の背中！

今だから語ろう！学校の応援団

義家 弘介 氏

～学校の課題と、大人たちが出来ること～

～義家氏が、県内ＰＴＡでは久しぶりの講演！表彰も。～

来年、平成26年1月21日に、従来の「安全安心講演会」を「県Ｐ講演会」と名称を変更し、ヤンキー先生こと、前文部科学大臣政務官の義家弘介氏に現在の教育現場における課題や問題、そして、それらにどのようにＰＴＡが対応できるのか、どのような大人の背中を見せていくべきなのか、御講演をいただきます。

～県Ｐとしての、新しい挑戦～

はじめて開催される「県Ｐ講演会」では、今までＰＴＡがたずさわることの殆ど無かった、政務官としての講師を迎え、行政の監視役であり、市民から付託を受ける立場から俯瞰的で広範な問題提起をいただきます。また、「偏ることなく」多面的な意見を集約する設えも検討中。講演を通して会員の皆様に広い認識と、問題意識を持ち帰って貰える企画にする予定。ぜひ、ふるってご参加下さい。当日は併せて、県の表彰式も開催の予定。

【担当：熊切豊専務理事（海老名市Ｐ）】

●会　　場：「ザ・ウィングス海老名」TEL.0120-377-657
●住　　所：神奈川県海老名市中央1-17-10
●アクセス：電車をご利用の場合
小田急線・相模鉄道 海老名駅東口より徒歩５分
JR相模線海老名駅東口より徒歩７分
●お問合せ先：神奈川県ＰＴＡ協議会事務局 TEL.045-431-6583

「土曜授業!? 教員採用! 会員の要望をかたちに」
～24年度県Ｐ要望書に対する回答～

本年、「大人の背中委員会（河野厚子委員長：葉山町Ｐ）」では昨年、神奈川県内24万会員に対して、教育行政に関する要望を広く募り、委員会において精査・選考し、県教委に対して「教育に関する意見・要望書」を提出しました。要望事項は下記の通りですが、ホームページから各項目についての回答を閲覧できますので、ご確認ください。ホームページがみれない場合は、県Ｐ事務局からファックスでも回答文章を送信できますので、お問合せください。（県Ｐ事務局　045-431-6583　担当　斉藤まで）

県Ｐでは、平成25年度も引き続き、「意見、要望書」の策定に着手をしております。会員の皆様からの要望はブロック協議会で集約をさせて頂きますので、ぜひ、ご意見やご要望をお寄せください。

１　いじめの問題への対応について

１－１　いじめによって学校へ登校できない子どもの数は、大きく増えていないとしても減少もしていません。いじめは当事者だけの問題ではなくその周囲にも影響があります。その様な状況の中で、現在スクールカウンセラーはどのような活動をされているのでしょうか。また、小中学校へのスクールカウンセラーの派遣はどの程度なのか教えていただきたいのと同時に、今後の県教育委員会としての対応について説明していただけたら幸いに思います。

答）　スクールカウンセラーについては、政令市を除くすべての中学校（178校）に、原則として週１回、年間35日間派遣しています。

スクールカウンセラーの活動内容としては、児童・生徒を始め、保護者の相談・助言、校内での研修の講師等が挙げられます。

小学校へのスクールカウンセラーの派遣は、週１回、年間35日間の範囲内で、中学校区のスクールカウンセラーが対応しています。

スクールカウンセラーの今後についてですが、複雑化、多様化する社会の中にあって、子どもたちが抱える問題も同様に複雑化、多様化していることから、今後ますます、その重要性は増していくと考えています。

そこで、改めてスクールカウンセラーの役割を明確にするとともに、学校内の相談体制に位置づけ、子どもからの相談に限定することなく、保護者・教員の相談についても充実させていきます。

１－２　いじめの無い学校の学校評価や、教師評価ばかりではなく、いじめを解決した学校・教師を評価する事も大切だと思います。その点についてご意見をお聞かせください。

回答→神奈川県ＰＴＡ協議会ホームページ

２　学校現場と医療現場の連携について

思春期の子ども達のこころのケアのため、時には心療内科受診も必要とされています。是非、初期段階でサポートできるような体制づくりと、学校現場と医療機関の連携などを進めていただければ幸いです。

回答→神奈川県ＰＴＡ協議会ホームページ

３　授業についていけない子どもたちへの対応について

昔に比べて１クラスの生徒数は減っていて目配りも以前よりは出来ていると思います。しかし授業についていけない子どもたちがいるのが現実です。授業がわからないと学校も楽しくなくなり、離脱等の原因になりかねません。このような子どもたちの対応について教えて下さい。

回答→神奈川県ＰＴＡ協議会ホームページ

４　退職教職員の再任用について

再任用制度があるとの事ですが、積極的に制度が運用されていないと感じます。また現在再任用されている教職員の雇用制度において、週40時間労働から週20時間程度の労働時間に減少していると聞いています。その貴重な20時間も若年化した教職員の手本になるような運用がなされていないように感じます。積極的な再任用と運用方法についてご意見をお聞かせ下さい。

回答→神奈川県ＰＴＡ協議会ホームページ

５　土曜授業の実施について

昨年度の本件要望に対して回答を頂いていますが、再度土曜授業復活を要望いたします。

土曜日を学校以外でのさまざまな活動に費やせる時間としてますが、週５日制で学習指導要領が見直された事による子ども達への負担を考えると、週６日制の検討が必要なのではないかと感じます。

また、回答の中で小・中学校の教育課程の編成は、設置者である市町村が定めるものとありますが、県は市町村教育委員会と連携し県内の保護者の意見を今後も把握していただければ幸いに思います。

回答→神奈川県ＰＴＡ協議会ホームページ

回答→ 神奈川県ＰＴＡ協議会ホームページ（http://www.pta-kanagawa.com/）

秦野市PTA「見える化」の強化
～広報紙にかける思い～

丹沢の玄関口でもある秦野市では、小学校13、中学校9合計22校でPTAが組織されており、全校が秦野市PTA連絡協議会に参加しています。

平成25年度は、鮎沢一享会長の下「秦野っ子の笑顔（安心、安全）と、より良い学校環境のために」をスローガンに活動を行っております。具体的な活動としては、「会長会」「情報委員会」「会長・情報委員合同会」、PTA会員の情報交換の場である「会員研修会」があります。その他にも、各校の保護者と校長先生が参加する「学校防災に関する討論会」を開催し、子どもたちが主体となって活動する「いじめを考える児童・生徒委員会」に参加しました。また、1月には市P大会を開催し、講演やPTA実践発表を行う予定です。

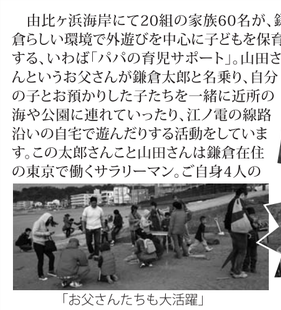
秦野市各校のPTA広報紙は、今年度の県PTA広報紙コンクール会長賞のほか毎年各種大会で表彰されるなど高い評価をいただいております。情報委員会においては、全国小・中学校PTA新聞コンクールの審査員である武勝美先生にご協力をいただき、広報の役割やノウハウを学んでいただくための「広報技術講習会」を行っています。さらに、実際に作成した広報紙についてご意見をいただく「広報クリニック」や「広報紙コンクール」を開催するなど、魅力的な広報紙づくりのための支援をしています。

単P・県Pと協力しながら、「開かれた市P連活動」「単P活動のための市P連」を目指し、「はだのっ子」の笑顔のために役員一丸となって市P連活動を行っております。

「広報紙の勉強会はいつも熱い」

鎌倉市PTA「家族でサバイバル体験」
～平成25年度鎌倉市PTA連絡協議会特別企画～ワークショップ

由比ヶ浜海岸にて20組の家族60名が、鎌倉らしい環境で外遊びを中心に子どもを保育する、いわば「パパの育児サポート」。山田さんというお父さんが鎌倉太郎と名乗り、自分の子とお預かりした子たちを一緒に近所の海や公園に連れていったり、江ノ電の線路沿いの自宅で遊んだりする活動をしています。この太郎さんこと山田さんは鎌倉在住の東京で働くサラリーマン。ご自身4人の子持ちで休日を利用して活動されます。山田さんはワイルドで笑顔の素敵なイクメンな方です。


「お父さんたちも大活躍」

その山田さんの指導のもと、刃物の使い方を学びました。

丸太を切る「斧」、枝を切る「鉈」の使い方、そして薪や竹の割り方大きな刃物から小さな刃物を用途別に使い、身近なカッターナイフの使い方も学びました。

最後は、自分たちで割った薪で作った豚汁を、竹で作ったお箸で頂きとても楽しい一日でした。

大人気だったのは、やっぱりワイルドな「斧」でした。

おめでとうございます!!～県広報紙コンクール表彰校発表される～

◆優秀賞　受賞○団体 PTA（広報紙名）

会長賞
○秦野市立南中学校PTA（みなみＰＴＡ）
県教育長賞
○秦野市立西小学校PTA（西のいぶき）
神奈川新聞社賞
○葉山町立一色小学校PTA（ほのぼのポスト）

◆優良賞　○団体 PTA（広報紙名）

○開成町立文命中学校PTA（文命）
○秦野市立本町中学校PTA（丹沢の風）
○茅ヶ崎市立鶴嶺小学校保護者と先生の会（会報つるみね）

◆奨励賞　○団体 PTA（広報紙名）

○横須賀市立小原台小学校PTA（小原台）
○横須賀市立武山小学校PTA（たけやま）
○横須賀市立津久井小学校PTA（津久井）
○鎌倉市立御成小学校PTA御成会（御成）
○藤沢市立藤沢小学校PTA（ふじ）
○相模原市立富士見小学校PTA（Smile）
○相模原市立宮上小学校PTA（みやかみ）
○相模原市立清新中学校PTA（清新中PTA会報）
○海老名市立柏ヶ谷小学校PTA（かしわ）
○海老名市立東柏ケ谷小学校PTA（ひがし柏）
○座間市立中原小学校PTA（広報なかはら）
○綾瀬市立綾南小学校PTA（りょうなん）
○綾瀬市立綾瀬中学校PTA（ふれあい）
○伊勢原市立竹園小学校PTA（わかたけ）
○伊勢原市立山王中学校PTA（山王PTAだより）
○大井町立上大井小学校保護者と先生の会（上大井）
○湯河原町立湯河原小学校PTA（けやき）
○厚木市立清水小学校PTA（清水）
○厚木市立戸室小学校PTA（広報とむろ）

神奈川県PTA協議会 安全互助会ご案内

神奈川県ＰＴＡ協議会に所属する小・中学校ＰＴＡがＰＴＡごとに団体で加入する保険です。　年会費＝1世帯100円

PTA活動中に生じた傷害・事故に保険金・お見舞金を給付いたします

◆傷害保険◆

○お支払い事故例
・ＰＴＡ主催バレーボール大会で転倒し、足をひねった。（靭帯損傷）
・親子清掃で高い所を掃除していたら台から落ちた。（打撲）
・役員会のため学校に向かう途中、転倒した。（骨折）

○お支払いについて（1事故につき）
・保険金（保険会社より）・・・入院日額3,000円・通院日額1,000円
・お見舞金（互助会より）・・・入院　10,000円・通院　5,000円

◆賠償保険◆

・ＰＴＡ主催のソフトボール練習中、打ったボールが学校の窓ガラスを割ってしまった。
・ＰＴＡ主催のお祭で荷物を運ぶ際、止まっていた車に傷をつけてしまった。
・通学路で児童・生徒の誘導の旗振り中、旗が車に当たり傷をつけてしまった。
※賠償については事務局までご相談ください。

事故が起きたら・・・
最初に「事故報告書・事故証明書」（A4）を事務局へご郵送ください。
神奈川県ＰＴＡ協議会安全互助会事務局　〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台22-14
電話：045-431-6584　FAX:045-430-5025

『かながわ子どもセイフティプラン24』（こども総合保険・自転車総合保険）

当制度は、児童・生徒のケガや賠償事故等、日常生活中に想定される様々なリスクに対応した制度です。
『かながわ子どもセイフティプラン24』の7つの特長 ●このご案内は、制度の概要を説明したものです。詳細は下記のお問合せ先までお問い合せください。

- 特長その1　お子さまがケガをした場合の治療費用を補償！（健康保険の3割自己負担分、差額ベッド代、入退院時の交通費など）
- 特長その2　補償期間（保険期間）中、1日24時間（学校の休みの日も）補償
- 特長その3　お子さまが日射・熱射によって熱中症を発病した場合を補償
- 特長その4　地震・噴火・津波によるケガも補償（一部プランを除く）
- 特長その5　自転車事故に備えた自転車事故充実補償プラン（オプション）を用意
- 特長その6　適用される割引率約46%割引（2013年度実績）
- 特長その7　掛金は便利な口座振替で、中学卒業まで自動更新が可能！（注:私立中学校および神奈川県PTA協議会非会員校に進学された場合は継続できませんのでご注意ください）

当制度にご加入を希望される方は、右記の【当制度のお問合せ先】までお問い合わせください。
2013年10月現在の内容です。

【当制度のお問合せ先】
取扱代理店／株式会社ジーアンドケイ・アソシエイツ
神奈川県PTA協議会
『かながわ子どもセイフティプラン24』係
0120-115-852
（9:00～17:00:土・日・祝日・年末年始を除く）
引受保険会社:AIU損害保険株式会社

A-000428(2014-12)

かながわ学舎　神奈川県PTA協議会
「県Pホームページ随時更新中!!」

神奈川県ＰＴＡ協議会の活動をもっと知っていただくためにホームページをリニューアルして２年が過ぎました。「ここを見れば県Ｐのすべてがわかる！」場を目指して、タイムリーな情報を掲載しています。10/26～27に開催した関東ブロックでは、1カ月だけで16000アクセスを超えました。ありがとうございます。

参加いただいた多くの皆様から、「素晴らしい大会だった。」と喜んでいただきました。本大会の模様もＨＰで報告しておりますので、参加できなかった皆様も是非ご覧いただき、今後のＰＴＡ活動の一助としてください。

神奈川県PTA協議会ホームページ
http://www.pta-kanagawa.com/

また、会員へ向けた情報発信ツールの一つとしてメルマガ「まなびや通信」を発行しています。多彩な執筆陣が名を連ねる県Ｐ見える化委員会が月替わりの輪番制で楽しくてためになるコンテンツを配信しています。その内容はＰＴＡ情報だけにとどまらず、幅広いジャンルからお得な情報が満載です！

登録は、県Ｐホームページ「メルマガ登録」より、ご自身のメールアドレスを入力して「登録」をクリックしてくださいネ。

※もちろん！スマホにも対応していますよ～。

編集後記

今回の84号では、関東ブロック研究大会ですね。この大会のことをなるべくタイムリーに届けたい！という思いで例年はもう少し早く出ている広報紙をこんなに遅くまで引っ張りました。

会長の思いをはじめ、県ＰＴＡの活動・各市郡での活動が少しでも伝われば思っています。号外は今年度「かわら版」という題名で発行しております。各学校に３部程度しか配っていませんが、機会があればお読みください。ＨＰにも掲載しております。

魅力発信委員長
浦中　勝己